

# ランヤヘニパウイルスの発見

本資料の最終更新日：22/8/12

- **中国でランヤヘニパウイルスが発見される。**

- Zhang et al., “A Zoonotic Henipavirus in Febrile Patients in China”, The New England Journal of Medicine, vol. 387, no. 5, pp. 470-472, 2022 にて報告された。
- Henipavirus（ヘニパウイルス）の新たな種である。

- **感染者の症状（26例の分析）**

- 発熱：26例全てで確認された
- 疲労感、咳、食欲不振、筋肉痛、吐き気、頭痛
- 血小板や白血球の減少、肝機能や腎機能の障害

- **野生動物の検査の結果、宿主はトガリネズミと考えられる。**

# ヒトからヒトへの感染について

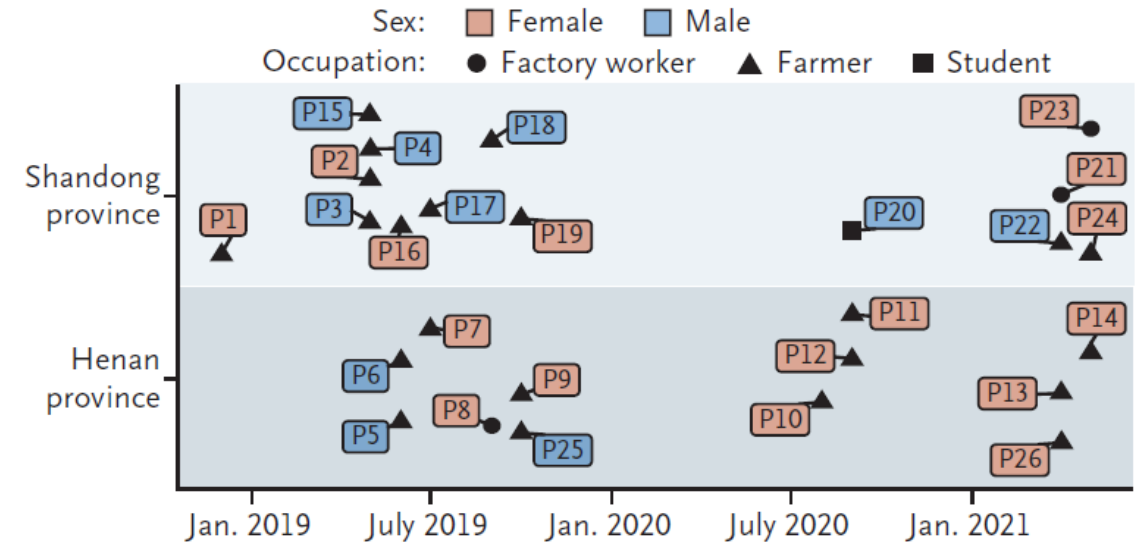
本資料の最終更新日：22/8/12

- ランヤヘニパウイルスのヒトからヒトへの感染は現時点では確認されていない。
  - ・ ランヤヘニパウイルス感染者同士の濃厚接触は確認されていない。
  - ・ また、感染者の一部について、濃厚接触した家族の調査も行われたが、ランヤヘニパウイルスの感染は確認されていない。

- 感染事例の特徴

- ・ 2019～2021年に散発的に発生。
- ・ 感染者のほとんどが農業従事者。

Characteristics of Patients with Confirmed LayV Infection



[Zhang+, 2022 より]